

令和5年5月1日

第3号

松戸市立第一中学校

ぶ ん こ う

みらい分校だより

こ こ ろ き ょ り ち ぢ



心の距離を縮めるために

～新入生歓迎 親睦レク大会～

3年生が入学してきたコロナ禍、人と人との間隔をとること(ソーシャルディスタンス)がしきりに叫ばれていました。校外学習も中止されたのですが、みらい分校で出会ったなかまの『心の距離』を少しでも近づけようと始めた取り組みが、親睦レク大会です。チームで力を合わせてミッションをクリアしていくというレクです。

「紙飛行機を作って遠くへ飛ばせ!」「紙コップを高く積み上げよ!」「ダーツ」…。くじ引きで決めたチームでしたが、どのチームも一生懸命にとり組んでいました。新入生からは、「楽しかった」「むずかしかった」「他の人の名前を覚えて良かった」等の感想がありました。



コロナ禍前の食事風景 令和2年2月28日

～『同じ釜の飯を食う』～

『同じ釜の飯を食う』とは、「起居をともにした親しい仲をいう」(広辞苑)とあります。一緒に食事をする事で、人間関係を深めるに通じることばです。5年前に開校したみらい分校は、業間にみんなで集まる食事時間をとても大切にしてきました。コロナ禍で会食や会話などが制限されてきましたが、ようやく一緒に食事をする事ができるようになってきました。

2時間目が終わると、みんなが特別室に集まってきます。おにぎりやパンなどの軽食やお菓子などをほおばりながら、和やかな時間が戻ってきました。

国籍も年代も住んでいる地域もさまざまな人がたまたま出会ったみらい分校です。交流を重ねて、さらに人間関係を深めてほしいと願っています。

